



'07ビーチバレーin大洗

国内有数のビーチバレー大会として知名度を上げている'07ビーチバレーin大洗が、7月28日（土）から29日（日）の2日間、大洗サンビーチバレーコートで開催されました。

今年で18回目を迎える今大会は、男女併せて198チームが参加して熱戦が繰りひろげられました。参加した皆さんは真夏の太陽を浴びながらさわやかな汗を流しました。

彩り豊に 盆踊りの夕べ

8月5日（日）夕方から、大洗マリンタワー前芝生広場で「盆踊りの夕べ」（盆踊りコンテスト）が開かれました。

広場の中央に組まれたやぐらの上から響く太鼓や笛の音色に合わせて、色とりどりのゆかたに身を包んだ大人から子どもまで、昔から伝わる「三浜盆踊り」を楽しみました。今年も盆踊りコンテストが実施され、参加した皆さんは優秀賞を目指しおもしろおもしろの踊りを楽しんでいました。



涸沼の源流飯田ダム視察会に 祝町小児童参加

7月24日（火）大洗地区涸沼浄化対策協議会の主催により涸沼川の源流である飯田ダム（笠間市）の視察会が祝町小学校の児童と保護者及び先生方29名が参加し実施されました。

この視察会は、涸沼及び涸沼川の水質浄化や環境問題に対する児童の意識向上を図るもので、参加した児童達は、飯田ダム管理事務所の職員からダム施設の案内や説明を受け、日常生活に欠かせない貴重な水資源や自然環境の大切さについて学びました。

育てよう 一人一人の 人権意識 —街頭啓発活動—

8月26日（日）、八朔祭歩行者天国国内で人権意識を高めようと街頭啓発活動が行われました。

町の人権擁護委員3名が、八朔祭に訪れた皆さんに人権啓蒙物品を配布し「思いやりの心・かけがえのない命を大切に」と呼びかけました。



わが家の ライフスタイル



ふじさき はるか
藤崎 遥ちゃん
(新町9区の2 1歳)
お父さん 康洋 お母さん 秀子
「明るく、元気に育ってね。」



にしだ たいぞう
西田 泰造くん
(祝町1区 1歳)
お父さん 和夫 お母さん 理香
「素直で、ちょっぴり恥ずかしがり屋の泰造が大好きです。」

「私が惚れこむ大洗」

■大洗が好きで、大洗に定住した方に大洗のどこが好きになったのか伺うコーナーです。

自然豊かな環境に魅力！

東京都出身のご主人、21年前に日揮(株)に入社後、大洗町の研究所に配属となりました。一時期横浜市に移りましたが、現在大洗に居住してトータル10年目、奥さんと娘さんの3人家族で大洗ライフスタイルを満喫中の河野さんご家族を紹介します。ご主人は出張の多い営業職を担当。勤務先の横浜市まで、大洗鹿島線の始発で出勤することも多々あるそうです。

Q：大洗に移住されたきっかけは何ですか？

A：家内が大洗町出身でもあり、娘を自然豊かな環境の中で育てたいと考えました。

Q：大洗のどこに魅力を感じましたか？

A：鹿島灘、涸沼川、那珂川に囲まれ、緑豊かな環境に魅力を感じています。

Q：大洗で一番好きな場所はどこですか？

A：涸沼に沈む夕陽です。

Q：町に関係した取り組み活動等がありますか？

A：ダイヤモンドカップゴルフトーナメントの過去5開催において、ボランティア活動を行いました。これからも続けて行きたい取り組みの一つです。

Q：町に対する要望はありますか？

A：社会基盤の整備と観光・商工業のさらなる発展を期待しますが、自然環境との調和を目指したいですね。



磯浜海防陣屋の歴史

5 海防陣屋跡の未来

明治時代を迎えると、海防陣屋は機能を失いますが、磯浜町の歴史を扱った本の中で紹介されていきます。昭和初期に発行された『東茨城郡誌』には、「外夷の来寇に備へしものにて、今は何等の建設物なし」と紹介されています。あるいは観光案内の『常陸いそはま』(写真)にも、磯浜海防陣屋跡が史跡として図示されています。これらの事からも戦前までは町内の主要な史跡であったようです。

そんな磯浜海防陣屋跡が再び注目されるのは、21世紀に入ってからです。最近では、町教育委員会や町内の歴史サークルによる除草作業が進み、現地はきれいになってきました。当時の歴史を知ろうと月1回の学習会も有志により進められています。

ほとんど無傷の状態で幕末の遺構が残っていることも確認され、海防陣屋跡からの景色の良さと相まって、大洗町の歴史に触れる事のできるかけがえの無い史跡として、注目されてきています。

(大洗町教育委員会
蓼沼香未由)

しかし戦後になると、現地はシノに覆われて、人も入る事ができず、何時しかその存在は忘れられていきま



『常陸いそはま』

喉をとほる催眠剤の一粒が生きゆく老の夜を有むる

祝町十区 佐藤 毅

〔評〕催眠剤つまり安定剤は、殆どの病院の処方に見られる。有めるはゆるやかにの意である。

伊豆ここの産地の畑に購ひし枇杷瑞々し剥きつつ食ぶる

桜道五区 猿田彦太郎

〔評〕作者は結社『歩道』で活躍している。七月には佐藤佐太郎歌碑建立のために一役を買った。

柔らかき初夏の光に覆われて庭のエスカの今し咲き満つ

成田町五十 清宮 しげ

〔評〕一読して、無駄のない詠みであることが解る。歌は簡明に、そして透明感が大切である。

ころころと木の葉がくれに鉢植の梅の実まろし曇り日の庭

寺釜九区 三村 住江

〔評〕初句の「ころころ」と、四句の「梅の実まろし」が作者の言いたいところであろう。

軒前を満し並べる鉢植のあぢさゐに陽の照らふ裏街

永町四区 川上 ひさ

〔評〕裏街ならではの風情である。とりわけ、軒下の草花に目を置く時、そこに歌が生まれる。

荒れ模様の天気ようやく定まりて朝日に照らう若葉静けし

南清水一区 広木 チイ

〔評〕しばらく続いた悪い空模様も落ち着き、人の心も清々しい。樹々の緑も一段と冴えて見える。

背丈ほどの枝渡り来て近づきし「白アイメーク」の小鳥愛らし

永町六区 笹目 孝子

〔評〕「白アイメーク」が面白い。目白であろう。最近、野の小鳥達も増えて来たようだ。

真向かいの山の芽吹き遠見えて群鳥さわぐ日がな一日

祝町三區 桐原 すみ

〔評〕結句をよく止めてしっかりと詠んでいる。「日がな一日」とは、一日中というところである。

新緑の山沿いの道降り来れば分水嶺の雪解の流れ

永町六区 鬼澤のぶ子

〔評〕天上界の水を二分けにする山脈を分水嶺という。雪解は文字通りに読んで雪でけ水とする。

初夏の木魚ひびきて堂内の香のただよう義兄の法事

新町十区 打田 照子

〔評〕木魚のひびく堂内は涼しく、閑かである。漂う香の流れに身を置く心もまた同様である。

観光客県下一というわが町の古き家並も整われゆく

新町六区 関根 秀子

〔評〕年間五百八十万の客を迎える町大洗。若宮平戸線も五十年ぶりの開通を見た。

紺碧の海はるばると展げつつ高波にいどむ多数サーファー

新町三區 高崎夫左江

〔評〕若者達のサーファーには、季節は関係ない。最も適した高波は、常に彼らを呼んでいるのだ。

散髪の鉄片手に当てゆけば心癒さる夫の笑顔に

永町七区 秋山まさ子

〔評〕鉄・カミソリを当てる行為は、心の通った者同志でない決してやらない背景がある。

荒れ果てし家屋に群れる雀らの人に驚き俄に飛び立つ

寺釜八区 小野瀬保子

〔評〕雀は警戒心が強い。集団生活にはそれぞれの防護意識が働く。人の住まぬ廃屋の景を詠む。

一枚のきらめく布を張りしこと陽を弾きいる初夏の川

永町十六区 身内 ゆみ

〔評〕「一枚のきらめく布」は作者の発見であろう。實際をありのままに捉えた佳作。

浜の子は海に向こうのアメリカかさ「泳ぎいっちょやべ」と遙かなる日よ

永町二区 田山 りゑ

〔評〕アメリカさは方言。カギ括弧内も面白い。ときに心若かえって歌心を湧かすのもよい。

すすくと伸びし青田をすれすれに宙返りして燕の飛ぶ

蔵前三區 鴨川 靖

〔評〕作者は障書を持つ体である。翻つて伸々と歌に心を托することは、とても素晴らしいこと。

したたかに降りつく雨に洗われて斜りの樹々の緑鮮やか

大貫町老健 掘野 満穂

〔評〕作者は歌を絶やすことがない。紙とペンさえあれば、心はいつも健やかである。

ぼくとわたしの
ちびっこギャラリ―

第二保育所 年長うめ組



八朔祭の山車づくりを楽しみました



イルカ健康診断

イルカ健康診断とは一体何をやるのでしょうか？毎月1回の健康診断では、胴回りや体重を測り、血液をとります。今回は、その中で1番苦労をする血液をとるまでのお話です。血液は、血管を見つけやすい尾鰭からとりますが、性格の違いか、針を刺すと、おとなしく動かないイルカや暴れるイルカなど色々です。体重が約540kgもあるオキゴンドウ、そんな巨体が暴れるとイルカも人も怪我をして危ないので、しっかりと押さえて血をとります。

この様にして健康診断は終了。健康診断は、動物たちの健康を守る為に私達飼育係が行っている健康管理の1つです。イルカ達は、健康な体だからこそ、オーシャンライブに出演して皆さんに会う事ができます。動物達が元気に暮らして、長生きできるように健康管理を行い、皆さんに姿を見て頂くのが私達トレーナーの大事な仕事で1番の願いです。



アクアワールド・大洗

<http://www.aquaworld-oarai.com> TEL 029-267-5151

健康づくりコーナー
お元気ですか？ 保健師です



9月は
循環器疾患
予防月間です

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群) 予防のために 1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ

最近よく耳にする“メタボリックシンドローム”。

これは、ウエスト周りが太くなる内臓脂肪型肥満の人が、軽度でも「高脂血症」「高血圧」「糖尿病」といった生活習慣病を一人で2つ以上もっている状態をいいます。自覚症状はありませんが、この状態は動脈硬化を急激に悪化させま

す。動脈硬化が進むと、血管が狭く硬くなり、詰まりやすくなります。その結果、心筋梗塞や脳梗塞といった恐ろしい病気を起こします。

メタボリックシンドロームは生活習慣が密接に関係しています。まずはあなたの生活習慣を振り返ってみましょう。

生活習慣CHECK!

- 食事は満腹になるまで食べる
- 夜食・間食をよく取る
- 脂っこいものが好きでよく食べる
- 料理に砂糖をよく使う
- 緑黄色野菜をあまり食べない
- アイスcreamやスナック類が離せない
- 歩いたり自転車に乗ることが嫌い
- 階段を使わず、エレベーターやエスカレーターを利用する
- 運動の習慣がない
- ストレス解消にお酒をのむことが多い
- タバコはやめられない



当てはまる項目が多い人は要注意です！簡単なところから改善していきましょう。

茨城県は、心疾患や脳卒中などの循環器疾患や糖尿病の生活習慣病による死亡率が高いことから、9月を「循環器疾患予防月間」と決めました。大洗町でも、東茨城郡医師会によるメタボリック対策の健康づくり講演会を予定しています。この機会にぜひ生活習慣を考えてみてはいかがでしょうか？

